

# 5 分間ファイヤー・ドリル

## 〔 2 号消火栓による消火訓練 〕

< 最低必要訓練人数 = 2人 >

実際に消火栓を使って放水訓練を行うときは、必ず消防の指導のもとに、放水による汚損等のおそれのない安全な場所で行うようにしましょう。



「火事だ！火事だ！」と叫びながら 2 号消火栓まで走り、消火栓の扉を開きます。

あわてずに、しかし、迅速に行動しましょう。

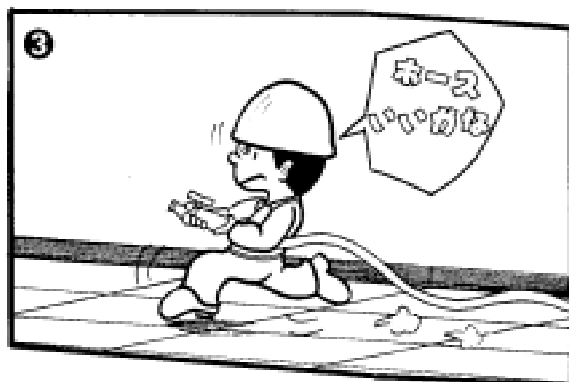
操作は、1 人で行いますが、他の 1 人は、安全確保を担当します。



ボックス内のホースを取り出してホースのノズルをしっかりと持ちます。

ホース根元の「開閉弁」を「開」の位置まで回します。

ノズルの「開閉コック」は、まだ、「閉」のままにしておきます。



ホースノズルをしっかりと保持しホースを展張しながら火炎に向かって進みます。

ホースに“折れ”“ねじれ”がないように展張しましょう。

火炎に近づきすぎないようにしましょう。



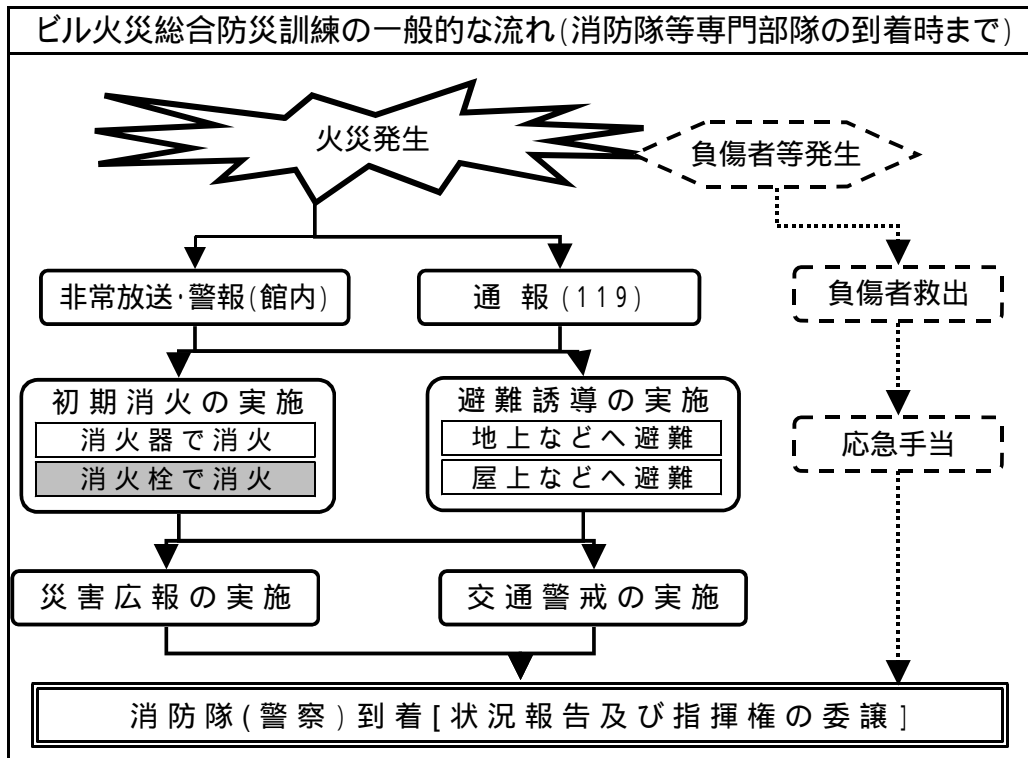
ノズル手元の「開閉コック」を回して火炎に放水します。

放水中は、ノズルを絶対に手放さないようにしましょう。

安定した姿勢で放水しましょう。

訓練終了後は、必ずポンプ室の制御盤でポンプを停止しましょう。

「2号消火栓による消火訓練」は、次の図のハッチング部分です！



### 訓練実施上の安全点検チェックリスト

平成 年 月 日実施

	点 検 項 目	確認欄
訓練前	・訓練実施者の健康状態は良いですか？	
	・訓練実施者の服装は良い(手袋・保安靴・保安帽・運動できる服装等)ですか？	
	・消火栓の表示灯は、点灯していますか？	
	・消火栓のホースやノズルに破損等はないですか？	
	・訓練実施場所は、安全な場所(転落、転倒のおそれなし)ですか？	
	・訓練実施場所は、十分な広さがありますか？	
	・訓練実施者の準備運動は、済みましたか？	
訓練中	・安全対策要員の配置は、適当ですか？	
	・訓練実施者の行動に不安定さ(無理した行動など)はありませんか？	
	・消火栓の使い方は適当ですか？	
訓練後	・火点に近づき過ぎていませんか？	
	・訓練実施者の健康状態は良いですか？	
	・訓練実施場所の状況は、適当(汚染等なし)ですか？	
	・消火栓を元の状態(ホース、ノズルバルブなど)に戻しましたか？	

： 実際に水を出して訓練をするとき、特に注意しましょう。

= さあ！ 訓練をやってみよう！ =